

ON YOUR SIDE REPORT

2022.6

京都中央信用金庫の現況

2022年度第1四半期（2022年4月1日～6月30日）における経営情報を開示いたします

京都中央信用金庫の概要（2022年6月30日現在）

本店所在地	京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町91番地		
創立	1940（昭和15）年6月18日	会員数	232,192人
預金・譲渡性預金	5兆2,558億円	出資金	198億円
貸出金	3兆1,230億円	店舗数	132店舗
職員数	2,548人		

(注) この四半期ディスクロージャーは、当金庫が自主的に開示するものです。計数につきましては、単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。なお、内容や諸計数については、会計監査人の監査を受けておりません。本資料は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。



TOPICS

2022年4月1日～6月30日

4月

- 京都市への「社会的に養護を必要とする子どもたちへの支援」を継続
- 「京都中央信用金庫所蔵品展 ひかり萌ゆ」開催（中信美術館12日～5月27日）
- 古民家活用促進に関する連携協定を締結
- 信用金庫業界初 TCFD提言への賛同を表明

5月

- SDGsの推進に係る東京海上日動火災保険株式会社との包括連携協定締結
- 株式会社ICHIGOとの連携・協力に関する覚書締結
- 「中信ものづくりアイデアソン」スタート
- 第35回「京都美術文化賞」受賞者決定
 《受賞者》 伊庭 靖子氏（洋画）、笹井 史恵氏（漆芸）、中原 浩大氏（現代美術）

6月

- ブライアン・イーノによる音と光の展覧会「BRIAN ENO AMBIENT KYOTO」開催（旧厚生センター3日～8月21日）
- 「キャッシュレス納付推進宣言式」開催
- 白梅町支店新築オープン
- 2022年度奨学生合格証授与式ならびに奨学生交流会開催（公益財団法人 中信育英会）
- 「京都ジョブ博2022」開催
- 第82回通常総代会開催
- 上田 亮 理事就任
 志賀 紀之 理事就任
 山本 徹 執行役員就任
 眞鍋 貴子 執行役員就任
- 京都府への「社会的に養護を必要とする子どもたちへの支援」を継続



キャッシュレス納付推進宣言式

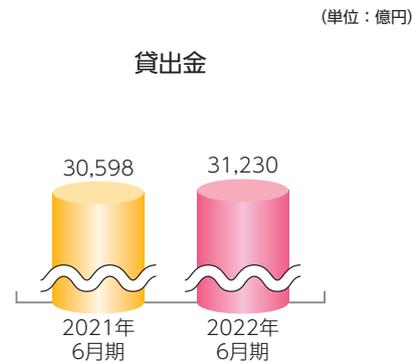
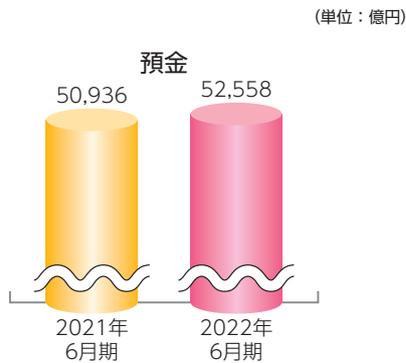


京都ジョブ博2022

預金・貸出金の状況

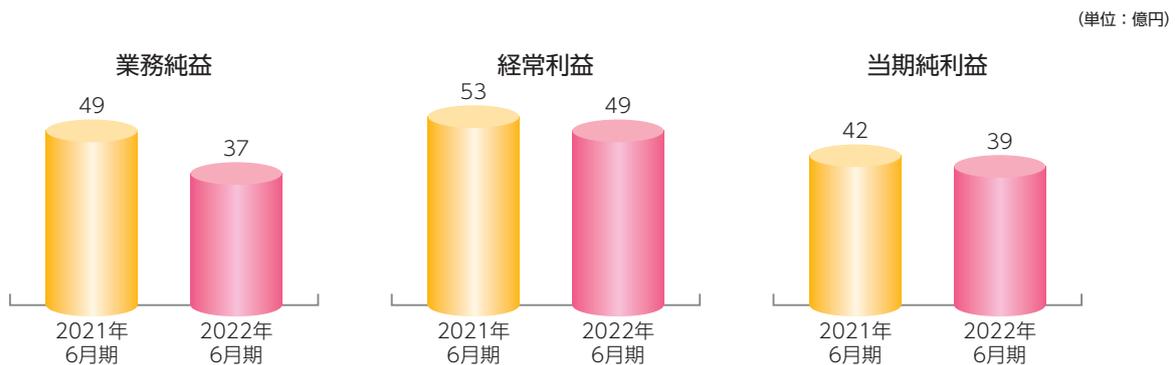
預金残高は、個人預金・法人預金が順調に推移した結果、前年同期比1,622億円増加し、5兆2,558億円（譲渡性預金を含みます）となりました。

貸出金残高は、地元中小企業者や一般個人のみならずへの円滑な資金供給に積極的に努めた結果、前年同期比631億円増加し、3兆1,230億円となりました。



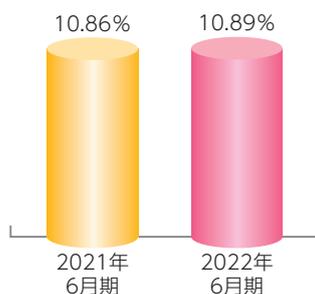
損益の状況

2022年6月期における業務純益は、前年同期比11億円減少し37億円となりました。また、経常利益は前年同期比3億円減少し49億円、当期純利益は同2億円減少し39億円となりました。



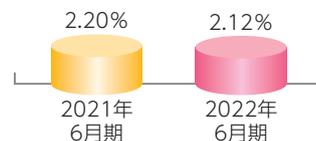
自己資本比率の状況〈単体〉

2022年6月期の自己資本比率は、内部留保額を順調に積み上げたこと等から、前年同期比0.03ポイント上昇の10.89%となり、国内基準4%を大きく上回っております。



開示債権の状況

2022年6月期の金融再生法開示債権のうち正常債権を除いた合計額は664億円、金融再生法開示債権全体に対する比率は2.12%となりました。



預金・貸出金の状況

(単位：億円)

	2021年6月期	2022年6月期	増減
預 金 (A)	50,936	52,558	1,622
貸 出 金 (B)	30,598	31,230	631
預 貸 率 (B÷A)	60.07%	59.42%	△0.65%

(注1) 預金には譲渡性預金を含みます。

(注2) 本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

損益の状況

(単位：億円)

	2021年6月期	2022年6月期	増減
業 務 純 益	49	37	△11
経 常 利 益	53	49	△3
当 期 純 利 益	42	39	△2

(注) 本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

自己資本比率の状況 (単体)

(単位：億円)

	2021年6月期	2022年6月期	増減
自 己 資 本 額 (A)	2,789	2,893	104
リスク・アセット等 (B)	25,666	26,561	895
自 己 資 本 比 率 (A÷B)	10.86%	10.89%	0.03%

(注1) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（2006年金融庁告示第21号）」に基づき算出しております。

なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しております。

(注2) 本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

開示債権の状況

(単位：億円)

金融再生法による 開 示 残 高	2021年6月期	構成比	2022年6月期	構成比	増減
破産更生債権及び これらに準ずる債権	76	0.25%	78	0.25%	2
危 険 債 権	585	1.91%	546	1.74%	△38
要 管 理 債 権	12	0.04%	39	0.13%	27
三月以上延滞債権	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	12	0.04%	39	0.13%	27
小 計	673	2.20%	664	2.12%	△9
正 常 債 権	29,992	97.80%	30,644	97.88%	652
合 計	30,666	100.00%	31,309	100.00%	643

(注) 本計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいております。